

うえだ News 環境市民会議

平成 16 年 2 月 15 日
第 4 号

発行：
うえだ環境市民会議
〒386-8601
上田市大手一丁目 11-16
上田市生活環境課内
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
ueda-ksk@egroups.co.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。それぞれのワーキングチームの活動を紹介します。

自然豊かな山と川を育むまち

- 1月27日、浦里とんぼの会の管理による「田んぼビオトープ」と、浦野東昌寺近辺の荒廃した里山と保存樹木等を見学
- 「田んぼビオトープ」に沿った道路舗装、阿鳥川沿いの防護柵が必要。耕作水田の減少による生物の現状を調査したい。荒廃した里山の対策は、じっくり検討する必要がある。上田市の保存樹林・樹木の指定基準や現状を勉強・討論したい。
- 市内公民館における里山再生に関する講座の調査
- 各公民館の地区に里山があり、それぞれ独自の活動がされています。

誰もが安心して健康に暮らせるまち ～きれいな水の循環を考える～

- 浄水場など、水に関する施設の見学を行う。
- 命の水について考えていく（環境ホルモンやダイオキシン類など）。
- 今後の予定 2月5日（水）市内河川観察
実施河川：千曲川、神川、矢出沢川、蛭沢川、浦野川、産川

うえだの景観

- UCV制作番組「うえだの近代化産業遺産」の第2回目収録（会場：旧草間歯科医院・1924年）
- 擬洋風建築の解説を竹内秀夫が務め、建物の経緯を草間鉄男氏に語って頂いた。
建物の特徴は、1階と2階の規則的に並んだ上げ下げ窓、1階と2階の間のスタッコ仕上げパネル、軒下の持ち送りと持ち送りの間のスタッコ仕上げパネル、腰壁の腰羽目板張り、外壁のイギリス下見板張りなどである。規則的に並んだ上げ下げ窓の外観は、上田城跡公園近くの石井鶴三美術館（旧上田市立図書館・1915年）の外観にとってもよく似ている。また、スタッコ仕上げのパネルは、旧草間歯科医院の向かいにある常田保育園（旧常田幼稚園・1919年）の外壁に見ることができる。



写真：旧草間歯科医院

建築年代からみると、建物全体のデザインは石井鶴三美術館を模し、パネル部分は常田保育園の外壁に使われていたスタッコ仕上げを取り入れたと考えることができそうだ。もし、そうだとすれば、よいデザインというものは、このように受け継がれ、やがて地域の風景の一部を形づくっていくのかも知れない。なお、旧草間歯科医院は、元々は長峰内科医院として建てられたもので、当時は擬洋風建築の診療所と和風の母屋が渡り廊下でつながっており、昭和36年（1961年）に診療所を草間氏が譲り受け、玄関部分を改装し、翌37年から歯科医院を開業したそうだ。

そして、40年以上診療されてきたが、平成15年4月に花園に移られ、ここでの診療は終了した。

母袋市長との懇談会を開催

1月28日（水）、議長、副議長、事務局の計8名が出席し、うえだ環境市民会議の活動報告や、今後の課題等について話し合いました。母袋市長から、「うえだ環境市民会議の活動を、嬉しく、心強く思っています。環境問題は地球規模の問題ではあるが、よりよき環境を次世代に引き継いでいくということ、住民一人ひとりが意識し、ずくを出しながら、問題に取り組んでいかなければなりません。主体は一人一人。よりよき環境を作るために共にがんばっていきましょう。」とのお話がありました。

地球SOS

○人類の生存基盤さえ危ぶまれる地球温暖化現象は、今も進行し続けています。その大きな原因となっている温室効果ガスの長野県における排出量は、10年間(1990年から2000年)で15.2%も増加しています(全国平均は8.0%)。でも、ふつうに暮らしていると何処で、どのように排出しているのか? 吸収する方法はあるのだろうか? と、分からないことが多いと思います。チームでは、下記のように“上田から発信する地球温暖化対策”を提案しようと予定しています。

◇“身近で進行している温暖化”を知るために、上田で広がりつつあるシラカシ林の観察会を下記のように開催します。



写真：アカマツ林の中のシラカシ

シラカシ自生地の観察会

庭木などで馴染みのシラカシという木は、温暖な土地で自然分布しており、上田では植樹したものしか越冬できないとされてきました。しかし、近年は上田の里山などで自生しているのが確認されています。温暖化と考えられる現象を観察する中で、温暖化防止行動もあわせて考えたいと思います。春を待つ冬芽の観察もします。

- 1 日時：3月13日(土)午後1時30分～4時
- 2 場所：上田市 小泉大日堂 駐車場
- 3 内容：シラカシ観察と個体数調査
- 4 申込み：3月10日までに生活環境課までご連絡ください。雨天決行します。

- 身近で実行できる省エネルギー方法を考え、市民へ広げます。
- 循環型社会(ゼロエミッション)の実践を学び、拡大を考えます。
- 少雨地帯のため日照時間が多い上田として考えられる自然エネルギー(特に太陽光)について学習し、市民に提案します。
- 森と街に気温測定器を設置して、上田の街のヒートアイランド現象を観察し緑地の効果を考えます。

げん ゴミゼロ ごみ減 (530)

～資源を有効に利用するまち～

■1月16日ミーティング開催

○食品トレイ削減の取組について

トレイ削減に向けた市民アンケートを検討しました。アンケート調査は、店頭での聞き取り等も検討しています。長野市の事例を参考に、調査品目を選定します。調査店舗等は次回ミーティング時に検討します。また、市内でごみ減量に関する活動をする団体との連携により活動を推進するため協力を依頼中です。

○上小地域有機資源循環ネットワークについて

ごみ減チームとして参画するには、もう少し検討したい。ピートモスを利用した生ごみ処理は、ごみ減チームの中で実践していきたい。

●事業所との意見交換会について

「上田市消費者の会」主催による大手スーパーとの意見交換会開催

- 日時：平成16年2月9日(月)
午後1時30分から3時まで
場所：中央公民館2階第1会議室

環境学習 いのち ～命の連環を学ぶ～

■1月17日(土)「学生地域くらし創り考房こみっと」と「染屋の森の会」との共催により、林 一六 筑波大学名誉教授を講師に、「生態学からみた身近な自然と環境」と題した環境学習講座を開催しました。

○参加者に学生が多く、「生態学とはどういう科学か」「上田地域の自然」「自然の仕組みに沿って暮らす」の3つを柱にご講演いただきました。

- 今後の予定 3月6日(土)午後2時 環境講演会開催
会場：清浄園
講座内容：「おいしい水と安全な水道水」
講師：中本信忠 信州大学繊維学部教授
参加費：200円

環境ISOネットワーク

○環境ISOヘルプデスクを開設します。

上田地域内の事業者からの、環境ISOの取得や手法、また、環境省や長野県版の「環境評価プログラム」についての相談を随時受け付け、その相談内容に対し、ネットワーク内で検討し、回答及び必要に応じて事業所に出向き、現地指導を行います。